

領域プロジェクト名称	ベイズ的アプローチによる人間の確率認知に関する研究
担当教員	吉田好邦
プロジェクトの狙い	人間の余命、ヒット映画の興行収入、パンの焼きあがるまでの時間といった身の回りの事象を人間が予測するとき、その予測結果をベイズ推論でよく説明できることが知られている。一方でベイズ推論が当てはまらない事例を検討することを通じて、本プロジェクトでは人間の確率認知の仕組みを検討するとともに、認知科学・ベイズ統計に関する知識やスキルを学習する。
プロジェクトの内容	人々が情報を得て主観的な確率を更新していく思考の過程は、ベイズモデルで表現できるとして近年その考え方が注目を集めている。認知科学の分野では連続的確率分布を用いて、ベイズ的な推論と人々の予測が一致することを示している研究もある。一方で大地震や原子力発電事故のような、確率が小さく被害が大きい事象の確率認知がベイズ的な推論で当てはまらないとの指摘もある。本プロジェクトでは人々の確率認知について本研究室で行った実際のアンケート調査の結果に基づいて、この問題の解決にアプローチする。
プロジェクト開催場所	本郷キャンパス（工学部4号館または工学部9号館）
プロジェクト計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベイズ推定に関する学習と既往研究のレビュー</li> <li>・アンケート調査の理解</li> <li>・アンケート調査結果の統計解析</li> <li>・結果のまとめ</li> <li>・発表会</li> </ul>
ウェブサイト	<a href="http://www.ee.k.u-tokyo.ac.jp">http://www.ee.k.u-tokyo.ac.jp</a> <a href="https://www.facebook.com/y.yoshida.lab">https://www.facebook.com/y.yoshida.lab</a>